

資料

茨城縣第五回調査統計展覽會開催

……昭和28年3月1日～3日……

水戸市茨城会館において



(寫眞は展覽會場の一部)

県及び県統計協会共催のもとに、県政の周知と統計思想の普及をかねて、第五回調査統計図表展覽會を開催したが、今回ははじめてのこころみとして、一般から統計図表を募集したところ、各方面からの非常な協力があり出品された作品は

- 第一部 (高等学校) 15点
- 第二部 (中、小学校) 11点
- 第三部 (官公衛、銀行、会社その他一般) 94点
- 合計 120点 (総理府統計局の参考出品6点を含む)

に達し、逐年科学的に分析した新鮮味を帯びた統計図表が作成出品されるようになって来たことはわが國統計界のため前途を祝福するに足るものであつて県内一般に統計思想の普及され統計教育の徹底されつゝある証左ということが出来るもので意を強くする次第である。

この会期中の参観者は三千名を越える等盛大裡に予期の成果を収めることができた。

なお前述の懸賞応募出品された作品の審査の結果は次の通りであるが、審査員総理府統計局技官玉手英三氏は審査の結果を評して

玉手英三氏談 第一部の高等学校生徒作品は先生の指導よろしき爲か統計図表としての各條件がよく纏つたものが多く一般によく出来たが色彩に努力していただきたい。

第二部の小、中学校生徒児童作品は技術的に第一部に劣るのは当然であるが精一杯に努力してい

る点が各図表に正直に表現されていたのは今後の向上に良い指針と目されよう。

第三部の一般作品は数も多く優秀な作品が多かつた事は當県がすでに戦後數回にわたつて展覽會を開催された結果だと考えられる。作品は構図は良く出来ていても色彩において失敗している図表が多かつたが入選作品においては他県のものに比しても立派に競争出来るものであつたのは非常に喜ばしい。

記

◎ 第一部

一席 総理府統計局長賞「メンス期作業能率の変化」茨城県立取手第二高等学校

秋田トメ外十一名

二席 茨城県知事賞「鹿島郡町村別実績額表27年度」茨城県立鹿島高等学校

小田倉 弘 直

三席 茨城県統計協会長賞「鹿島町経営耕地面積廣狹別ミシン、ラジオの所有状況」茨城県立鹿島高等学校

柳 生子

◎ 第二部

一席二席ともなし

三席 茨城県統計協会長賞「笠間町人口世帯の推移表」西茨城郡笠間中学校

橋本 哲夫

三席 同上 賞「伝染病發生死亡狀況」西茨城郡笠間中学校

坂本 光男

◎ 第三部

一席 総理府統計局長賞「たばこ一人當消費量」日本専売公社水戸地方局

二席 茨城県知事賞「職業別人口」眞壁郡下館町役場

森田 忠季

二席 茨城県統計協会総裁賞「懲役刑犯罪者の分類」水戸地方裁判所

三席 茨城県統計協会長賞「本邦の町村別人口及び世帯数」那珂地方事務所調査課

三席 同上 賞「健康保險收入支出狀況」茨城県民政労働部保險課

三席 同上 賞「中学校生徒の長期欠席原因」茨城県教育廳調査課

なおこれが表彰状の傳達と授與式は三月十六日午前十時から知事室において舉行した。終つて統計館で受賞者を囲んで座談會を催した。

出品された圖表の表題各部毎に次の表の通り。

出品圖表表題

一 部

- 1 鹿島郡人口及世帯数
- 2 出生と死亡
- 3 村の歳入と歳出
- 4 鹿島郡町村別実績額表27年度
- 5 生産額と工場数
- 6 耕地面積小作自作の比較
- 7 鹿島町飼養家畜養頭羽数
- 8 鹿島町経営耕地面積廣狹別ミ
ン、ラジオの所有状況
- 9 昭和27年度町村別收満高一覽
表
- 10 鹿島町年次別甘藷作付及收穫
高
- 11 降雨量、気温
- 12 白瓜と健康 (その一)
- 13 " (その二)
- 14 メンス期作業能率の變化
(その一)
- 15 " (その二)

二 部

- 1 笠間町人口世帯の推移表
- 2 笠間町の歳入歳出
- 3 笠間町の農業形態
- 4 玉川村の経営規模別による耕
地面積
- 5 職業適性検査諸検査との比較
- 6 昭和25年度本校卒業生の進路
- 7 傳染病發生死亡状況
- 8 27年齒牙検査統計
- 9 笠間町の税金
- 10 山村の氣象
- 11 氣象觀測記録田余の記録

三 部

- 1 人口密度
- 2 職業別人口
- 3 下館都會の人口
- 4 市郡別出生率
- 5 人口密度
- 6 本郡の町村別人口及世帯数
- 7 人口密度
- 8 本縣の自然、社會現象

- 9 人口男女の年令分布の推移
- 10 人口増加と人口密度の推移
- 11 取手町の転入転出状況
- 12 人口移動
- 13 共同基金の配分先
- 14 昭和25、6、7年度郡内共同募
金実績表
- 15 本郡の保護状況
- 16 兒童福祉施設数
- 17 厚生年金保險收入支出状況
- 18 健康保險收入支出状況
- 19 日本婦人は何人子供を産むか
- 20 各部落に於ける農業稼働力の
實態
- 21 産業災害 (その一)
- 22 " (その二)
- 23 労働力事情
- 24 日米の労働力事情
- 25 本村の冬作付面積
- 26 供出數量
- 27 稻の作付面積
- 28 経営規模別自小作別農家數
- 29 町村別家畜飼養頭数
- 30 自小作別及専兼別農家戸數の
変遷
- 31 農家一戸当り及農業従事者 |
人当りの耕地面積
- 32 主要都道府縣別の勢力 (動力
漁船)
- 33 " (淡水漁船)
- 34 藪産額
- 35 桑面積
- 36 農協はいくつできたか
- 37 農業協同組合の資金はいかに
つかわれているか
- 38 昭和27年本縣内たばこ賣渡高
表
- 39 昭和26年度縣内種類別たばこ
賣渡高表
- 40 たばこ一人當消費量
- 41 茨城縣に於けるたばこ賣渡高
- 42 本郡に作付されている主要夏
作物種別割合
- 43 かまどの改良割合
- 44 稻の作付面積
- 45 本縣の家畜數
- 46 ミシンの所有割合
- 47 郡市別葉たばこ生産状況
- 48 農家經濟の動き
- 49 農家經濟の合理化(その一)
- 50 " (その二)
- 51 " (その三)
- 52 " (その四)
- 53 本町の財政
- 54 事業税の業種別負担額
- 55 縣財政の稅收入と本郡の徵收
額
- 56 本郡の町村財政一覽
- 57 昭和26年度町村税の徵收状況
調
- 58 本郡の財政状況
- 59 一人當國民所得
- 60 支出階級別費目割合
- 61 家計支出
- 62 平均賃金の推移
- 63 新制中學卒業生の歩む道
- 64 本縣學徒の体位
- 65 卒業生の歩む道
- 66 工場分布
- 67 本縣の纖維工業
- 68 主要織物生産高
- 69 絹人絹織物生産高
- 70 本縣の工業
- 71 結城町の製造業
- 72 昭和26年町村別建築状況一覽
表
- 73 生活科學化に何を望むか
- 74 わが村の文化
- 75 茨城縣内の電燈電力の需要高
及びそ趨勢(その1)
- 76 " (その2)
- 77 懲役刑犯罪者の分類
- 78 盜犯による財物被害高回復高
調
- 79 結核死亡率はどの地方に多い
か
- 80 各種選舉投票状況
- 81 高萩駅(一日平均)運輸概況
- 82 クリモグラフ
- 83 年次別乳兒死亡
- 84 年次別結核の罹患率、死亡率
- 85 中學校生徒の長期欠席原因
- 86 生徒一人の教育費
- 87 修學旅行についての世論調査
から

研究

……経済指標一つ二つ……

私たちは殆んど毎日「景気がいゝ」とか「不景気だ」などという言葉を書いている。それがよほどのジョウダンでもない限り経済情勢の波を言い表す言葉として使っている。そして「景気がいゝ」とは生産が活況を呈し、それがストックされたりせずには賣りさばかれるから物価も下るようなことがなく、したがって労働者が仕事にあぶれて失業していたりすることはないわけである。一方不景気のときには生産は停滞する。それは造つても賣れないからであり造りすぎて滞貨になつては損がかさむ、したがって労働者も雇つておく必要がないからクビになるおそれがおこる。

近代社会の経済事情は複雑な関係が網のように入り組んでいる多くの機構から生まれ出るものであつて簡単に此の間の姿を示す指標(目やす)はなかなかむづかしい。経済関係が種々の需給関係によつて成立つことは明かであつてこれがわかれば明瞭な目やすとなるのだらうけれども、これを統計的に把むことは非常に困難で今日の高度に発達した統計理論と技術をもつてしてもなかなか把まらぬ。

そこで一般にはそれらの多くの関係を一つ一つ

分析した統計をとることによつて、総合的判断の材料としているのが現在の事情である。経済活動の最も明瞭な指標が生産であることはいうまでもない。これを示すのが鉱工業総合生産指数、鉱業生産指数、工業生産指数、農業生産指数等々その他の生産指数である。次に生産されたものは種々の材料品であれ消費物資であれ商品として賣られることになる。ここに現れるのが卸賣物価である。この指数が卸賣物価指数であつて賣れないようなときは安くなつてこの指数は下るといふことになる。物価が頭打ちしているのは買つてくれる人がないからである(統制経済の時は例外であるけれども)買つてくれないものは造つても仕方がないから労働者を沢山雇つておく必要がなくなつてクビにしたりするから就業者は減つて失業者が増える。全体としての労働人口でもつて就業者の数を割ると就業率が出る。一般に雇用者の数は景気の波を示すといえる。雇用者数の指数が雇用指数である。この位では複雑な経済関係を判断することは容易でないけれども主要な経済指標として次に最近の資料を掲げてみた。

(総務部調査課 長島)

世界の経済の動き

	1947 (昭22)	1948 (昭23)	1949 (昭24)	1950 (昭25)	1951 (昭26)	1952 (昭27)														
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月						
鉱工業総合生産指数																				
日本	—	—	100	134.8	172.3	172.5	180.4	183.5	181.4	161.1	182.7	187.1	188.5	198.1						
アメリカ	97	100	92	104	115	115	116	115	112	110	107	103	141	120						
イギリス	90	100	106	114	117	118	120	123	109	116	111	102	97	115						
ドイツ	—	100	149	189	228	219	219	222	226	220	231	217	224	241						
フランス	86	100	110	111	124	135	137	137	136	135	132	125	105	128						
カナダ	97	100	102	109	117	113	114	116	118	121	120	117	115	120						
卸賣物価指数																				
日本	56.6	150.4	245.4	290.2	402.7	420.3	420.2	414.9	410.1	409.2	408.7	412.1	409.5	409.7						
アメリカ	92	100	95	99	110	108	108	108	107	107	107	107	108	107						
イギリス	88	100	105	120	146	153	150	152	150	149	149	149	148	147						
ドイツ	—	100	94	98	119	120	122	122	123	122	121	121	121	122						
フランス	—	100	108	138	151	152	152	149	147	145	143	144	144	143						
カナダ	—	100	103	109	124	122	120	119	117	116	117	117	116	115						
雇用指数																				
日本	97.0	98.0	99.3	94.2	100	99.9	99.6	99.7	101.3	100.3	99.1	98.7	98.6	98.7						
アメリカ	—	100	91	96	102	100	101	101	100	99	97	95	10	104						
イギリス	—	100	102	105	108	108	107	107	106	106	105	105	105	105						
ドイツ	—	100	106	113	122	—	—	122	—	—	126	—	—	128						
フランス	—	100	102	103	106	107	—	—	107	—	—	—	106	—						
カナダ	97	100	100	101	108	104	105	106	107	107	108	109	110	112						

(註) 1. 鉱工業総合生産指数のうち日本の部分は1949年=100とする。資料は通産省資料による。
 2. 卸賣物価指数のうち日本の部分は1948年1月=100とする。
 3. 雇用指数のうち日本の部分は1951年=100とする。なをこれは工業部門雇用者のみである。
 4. 鉱工業総合生産指数の日本のものを除き他の資料は経済審議庁資料による。